



年頭めぐり授

ハイサイグススロー イーソーグワチデービル

(新年、明けましておめでとうございます。)

県民の皆さまには、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、米国から琉球国王の肖像画「御後絵」4点を含む文化財20点の返還や、中城御殿の起工式・覚書調印式、泡盛を含めた日本の「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産への登録など喜ばしいニュースがあった一方で、本島北部地域における大雨により大きな被害が発生した年でもありました。改めて、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧のため、市町村の要望を踏まえながら、引き続き、支援に取り組んでまいります。

令和7年度は、沖縄戦終結から80年の節目の年となります。これまでの歴史を振り返り、先の大戦の犠牲者を追悼するとともに、未来へ向け、県民一人一人、そして、沖縄を訪れる全ての人々を含めて、平和で豊かな沖縄を目指すため、戦後80周年平和祈念事業(仮称)に取り組みます。

沖縄経済は、観光需要の増加や雇用情勢の持ち直しの動きが続いていますが、長引く物価高や各業界において深刻な人手不足、賃金上昇への対応など、県経済が直面する課題への対応が重要です。引き続き、「強しなやかな自立型経済」の構築に向け、観光関連産業をはじめとする各種産業の振興による県経済の再生と、県民の安全・安心な暮らしを取り戻すため積極的に取り組めます。

沖縄振興に当たっては、産業DXの加速化、スタートアップ、イノベーションの推進、経済循環の促進、人材への投資、農林水産・商工・観光分野の官民が連携し、企業の「稼ぐ力」を強化する取り組みなど、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に沿った取り組みを着実に推進してまいります。

人口減少対策については、本県の総人口は、自然動態の減少が続き、人口減少が現実味を増していることから、地方創生の取り組みを推進し、人口減少のスピードを緩和させつつ、成長力のある社会を構築することが必要です。

子ども・子育て対策については、全国と比較して厳しい状況にあること、もの貧困問題の早急な解消に向けた取り組みを積極的に推進するとともに、誰もが安心して子どもを産み育てることができ、環境を整備するなど、社会の一番の宝であ

ることもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、子ども若者の意見表明や社会参画の促進など力強く推進します。

SDGsについては、「おきなわSDGsプラットフォーム」の活用や県内のSDGs状況を見える化し共有することなどにより、多様な主体の参画、取り組みの創出、連携・協働を促進し、「沖縄らしいSDGs」の推進を通じた「持続可能な沖縄の発展」並びに「誰一人取り残すことのない優しい社会」の実現を目指します。

地域外交については、我が国とアジア諸国・地域を結ぶ拠点として発展し得る沖縄独自の優位性を効果的に活用し、潜在力を顕在化させるとともに、アジア太平洋地域の平和構築と相互発展に向けて沖縄県が積極的な役割を果たすため、さまざまな分野における取り組みを戦略的に展開します。さらに、ウチナーネットワークの活用を含めた人的交流と経済施策の連携に向けた取り組みを推進し、自立型経済の構築を図ります。

基地問題については、2013年に政府に提出した建白書や、2022年に取りまとめた新たな建議書に込められた県民の願いを実現するため、辺野古新基地建設反対を貫くとともに、普天間飛行場の危険性除去や県外・国外移設などの米軍基地負担の在り方、米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本改定などを全国に訴え続けるとともに、普天間飛行場の危険性や米軍基地から派生する環境問題、多発する米軍関係の事件・事故など沖縄の正確な情報を発信してまいります。

県民の皆さまには、引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして明るく良い年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

クトゥシン ユタサルグトゥ ウニゲーサピラ

(今年もよろしく願っています。)

令和七年一月一日

沖縄県知事 玉城 デニー

